

好学尚武

市立浦和高等学校野球部通信
発行者 鈴木 諭

発行日 H30.4.12
発行ナンバー 584号

練習試合の結果

7日(土) 対不動岡高校		
第1試合	7対7	引分
第2試合	15対6	勝利
8日(日) 対三郷北高校		
第1試合	5対7	敗退
第2試合	5対4	勝利
9日(月) 対大宮東高校		
第1試合	2対11	敗退
通算成績	12勝 16敗	3分

春休み終了→新年度へ

4月6日(金)に始業式が行われましたが、春季休業を3月24日(土)～4月8日(日)だったと考えると・・・16日中、13日練習試合(24試合)を行い、1日休み、2日練習という内容で過ごしました。(勉強時間を確保していないだろう～と言われそうです)言い訳っぽくなりますが、雨で中止が1日もないとはい・・・こんな年もあるのだと驚いています。おかげで選手・マネと濃密な時間を過ごす事ができました。

期間中、新入生の練習もスタートしました。このまま本入部になると、市高野球部は(全学年で)50名近くの部員数になりそうです。(私が転動してきた5年前と比べると約2倍、とても喜ばしいことです)(在校生の)弟や(2,3年生部員と同じ中学の)後輩という関係の新入生部員が多く、(廣瀬という先輩女子部員がいるので)女子選手も2名入部予定です。

より、活動を充実させます。ご期待下さい。

学校生活＝・・・

「夏の大会に担任の先生が応援に来てくれる学校生活を送れ！」

「野球部顧問以外の先生方にとっては、オマエらの野球技術なんてどうでも良いこと。そういう先生方からどうやって評価される生徒を目指すか・・・」(普段の学校生活態度しかないだろ！)

いずれも私が高校時代、恩師からたたき込まれた言葉です。今、教員という立場になってみると、本当にその通りであると思います。他校の野球部顧問ではない先生方と話をするによくあるパターン・・・それは、野球部の生徒がグラウンドと校舎内でまったく別人格(悪い意味で)、野球応援に行く気なんかサラサラない・・・というもの(残念ながら強豪校に多い)私は、そういう野球部には絶対したくないと思っています。(恩師の教えを継承したい・・・)

私の経験上、間違っていないと断言することができます。それは、女性教員から(野球部員へ)のお褒めの言葉をいただく回数が多い代は野球の試合結果も良いことが多いということです。

なぜでしょう・・・

「気付きの多さとそれを行動に結びつけているから」ではないかと思っています。重い物を運んでもらいたい・・・など、困っている状況であることに(気付き)手を差し伸べる(行動)→お褒めの言葉をいただく。これは野球と完全に重なります。相手チームと戦いながら何かに(気付き)チームが有利になるよう(行動)→勝利を目指す。

気付かない、気付いても行動しない・・・これでは厳しいですし、やはり校舎内の過ごし方と野球の試合結果は結びつくのだと思います。

さて、今年のチームは、私生活から野球部の実力向上へと結びつけられるでしょうか・・・

期待しています。